

生きものの記録 (1955)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 113分

初公開日 1955/11/22

公開情報 東宝

【解説】

一貫して反戦を訴え続けた黒澤明監督が、過熱する米ソの核軍備競争や1954年に起きた“第五福竜丸事件”などで盛り上がる反核の世相に触発されて原水爆の恐怖を真正面から取り上げた異色のヒューマン・ドラマ。町工場を経営する財産家・中島喜一は突然、原水爆とその放射能に対して強い恐怖を抱くようになり、地球上で唯一安全と思われる南米ブラジルへの親類縁者全員の移住を計画する。しかし、このあまりにも突拍子もない行動に対し、現実の生活が脅かされると感じた家族は喜一を準禁治産者として認めてもらうため裁判にかけるのだった。

【クレジット】

監督	黒澤明	Akira Kurosawa	
製作	本木荘二郎		
脚本	橋本忍	Shinobu Hashimoto	
	小国英雄	Hideo Oguni	
	黒澤明	Akira Kurosawa	
撮影	中井朝一		
美術	村木与四郎		
編集	小畑長蔵		
音楽	早坂文雄		
出演	三船敏郎	Toshiro Mifune	中島喜一
	志村喬		家庭裁判所参与 原田
	千秋実		中島二郎（次男）
	清水将夫		山崎隆雄
	三好栄子		喜一の妻 とよ
	青山京子		中島すえ（次女）
	東郷晴子		山崎よし（長女）
	千石規子		一郎の妻 君江
	根岸明美		栗林朝子
	太刀川洋一		須山良一
	上田吉二郎		朝子の父
	東野英治郎		ブラジルの老人
	佐田豊		中島一郎（長男）
	藤原釜足		岡本
	三津田健		荒木
	渡辺篤		石田

水の也清美
清水元
小川虎之助
中村伸郎
左ト全
土屋嘉男
谷晃
高堂国典
本間文子
加藤和夫
大久保豊子
米村佐保子
大村千吉
宮田芳子
桜井正郎

里子
鑄造所職長
堀
精神科医
地主
鑄造所工員
留置人A
工員の家族
工員の家族
原田の息子進
進の妻澄子
妙子
留置人B